

河川清掃の改善に向けた総会後の対応について

資料 4

令和3年8月6日（金）佐賀市水対策市民会議
令和3年度第1回委員会

ご 意 見	会議時の応答	今後の対応
○河川勉強会（現地視察）について		
久保田では井樋等の施設見学会をすでに実施した。地元でポンプの操作を実施しており、前回の水害でも完璧にフォローされたということだった。こういった見学会を皆さんにもぜひやってもらいたい。	現地視察の案をつくって示したい。	資料3「勉強会（現地視察）」
○河川清掃改善の取り組みについて		
ポスターや標語での啓発では伝わりにくい。河川清掃は3Kのイメージがあるが、もっと楽しいイメージに転換していく行動が必要。	標語、ポスターは、長い時間をかけて子どもに川を大事にする意識を醸成する取り組み。 河川清掃の感覚を変えていくような体制をつくっていききたい。	水対策市民会議やその他の機関からも情報を入手しつつ、河川清掃のイメージが変わるよう改善していきたい。
アクトコインというツールを使って河川清掃を実施している。ボランティアへのポイント制度で、飲食店などへの利用が可能。こういった方向からも検討しては。	その仕組みについて存じ上げないが、可能性を含めて検討したい。	<ul style="list-style-type: none"> ・アクトコイン等の民間のツールは、河川清掃のインセンティブとして活用できると考える。 ・情報の入手に努め、先進事例として他団体に紹介していきたい。 ・ご紹介いただいたアクトコインは、現時点ではボランティアで獲得したコインを使用する段階まで至っていないので、今後の動向に注視したい。
○多布施川の水の流況について		
市内に流れてくる流量が減っている理由を何かつかめているか。要因について調べてほしい。	明確な理由はつかめていない。春先など緑小路のところで減っている。どこかで水をとっているわけではない。	<ul style="list-style-type: none"> ・今年2月に多布施川を石井樋から緑小路観測所まで辿り、井樋の開度を確認し、把握していない分水工の有無を確認したが、開度は適正で、分水工の発見には至らなかった。 ・その後、佐賀県河川砂防課に確認したところ、<u>流量が減っている期間について、水位は下がっていない</u>とのことであった。 ・原因として、流量を算出する際に用いている流速計の観測値が、川の底地の水草の繁茂状況等によってぶれが生じるため、実際の流量と合っていないことが考えられる。今後は、安定した測定方法を模索したいとのことであった。
○表彰制度について		
事務局が推薦し、本会議で承認するようにはどうか。	検討したい。モチベーションを保ちながら実施してもらえるよう、基準など精査し、8月に詰めていきたい。	資料5「表彰制度の改善について」
新聞で自治会が清掃をやっているという記事を見ることは多くない。世帯数に比べて参加人数が多いところなど、本当に頑張られたところが表彰されるように考えてもらいたい。		
河川清掃は自治会がやるべきと考える。やるのが当然であり、表彰するからには基準が必要。		